

経営比較分析表（令和3年度決算）

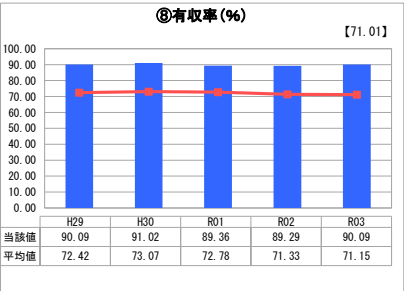
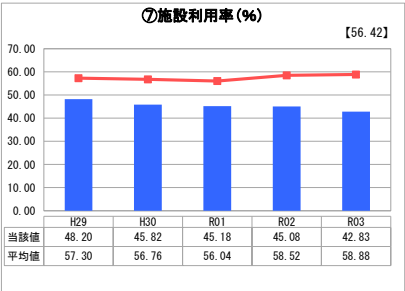
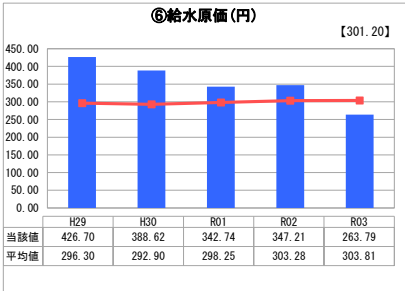
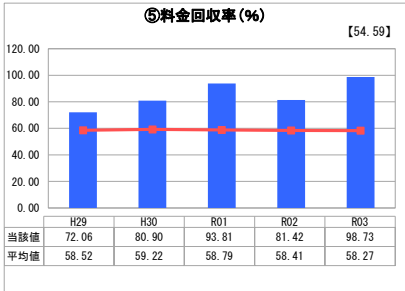
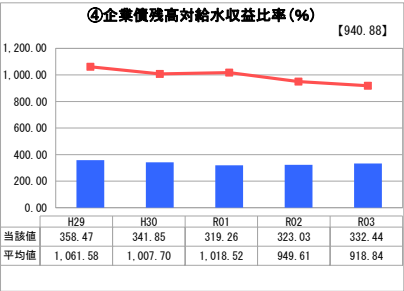
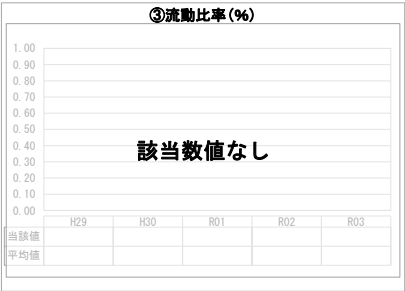
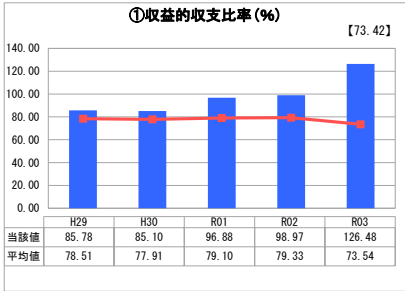
北海道 古平町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	96.51	5,660	

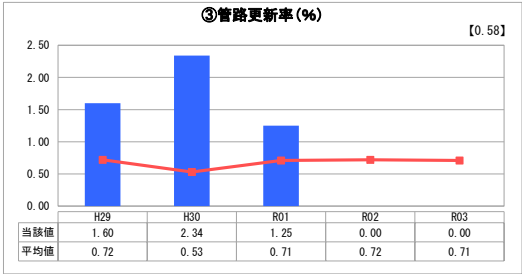
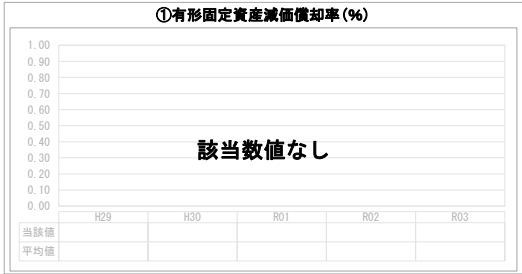
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,798	188.36	14.85
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,658	9.30	285.81

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益の収支比率及び料金回収率は類似団体の平均を上回っており、現在のところ経営の健全性は保たれております。

なお、給水原価が下がったのは、地方債償還費の減少や、計画策定業務の終了に伴う委託料の減少が要因です。

一方、耐用年数を過ぎた老朽管及び浄水場等の水道施設全体の更新を計画的に進める必要があり、更新費用の増大及び料金収益が減少する中、将来の事業経営の健全性を保つため、経費の節減、効果的な事業の経営に努めます。

2. 老朽化の状況について

本町の水道は昭和39年に創設。

現在の浄水場は昭和51年に完成し、平成18年度から「簡易水道等施設整備費国庫補助事業」として浄水施設の改良及び改修を行いました。

また、管路については平成18年～令和元年にかけて計画的に更新を行いました。

これ以外に耐用年数を超過している施設や管路も多くあるため、今後の更新事業を効率的かつ効果的に行います。

全体総括

水需要は、人口減少により減少しております。

一方で昭和50年代に整備した多くの水道施設の老朽化が進んでおり、今後、多くの更新需要が発生するため、更新計画に基づいて、今後の更新事業を効率的かつ効果的に行います。